



プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社
〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中1丁目17番地
<http://jp.pg.com/>

2010年11月10日

特定非営利活動法人 動物実験の廃止を求める会
理事長 長谷川 裕一 様

プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社
エクスターナル リレーションズ
アソシエート ディレクター
北野 美英

拝復 時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたびお問い合わせいただきました、動物実験につきまして、当社の方針を説明させていただきます。

P&Gグループ(マックスファクターを含む)では世界的な取り組みとして、動物実験を廃止・代替法に置き換えていく方針を掲げており、代替法の研究開発にも積極的に取り組んでいます。この方針のもと、P&Gグループのすべての製品において、法規制で要求される場合など、やむを得ないごく一部の例外を除いて動物実験は行っておりません。

弊社では、これまでに2億5000万ドル以上の資金を投じ、50以上の代替方法の確立に寄与して参りました。また、行政や大学などの研究部門とも協力をし、代替法の確立や普及推進も行い、P&Gグループでこれまでに開発した代替法は、積極的に公開、社会的に動物実験を減らすことにも貢献して参りました。

その具体例として、皮膚刺激性や眼刺激性などの安全性試験においては、組織培養細胞などを用いた方法などが動物実験代替法として考案・開発され、科学的に評価されております。さらに、既存のデータを積極的に活用することも、不要な実験を回避するものであり有効な手段であると考え、体系的なデータベースの構築を行い、それらの情報を活用した安全性評価も行っております。これら内容に関しては、弊社のホームページでも関連情報を公開しております。ご参考までに、英語ではございますが、ホームページで公開している資料の一部を同封させていただきます。

今後ともP&Gは、化粧品をはじめ、食品、医薬品、新しい化学物質や新技術にも広く適用可能な動物実験代替法の研究開発を継続して行うとともに、信頼できる動物実験代替法が認知され、それらの代替法が法規制により認められるように積極的に働きかけて参ります。

弊社では、消費者の皆様へ安全で高品質な製品を提供していること、ならびに弊社の動物実験削減に関しても、真剣にその削減に取り組んでいることについて誇りをもって参ります。私どものこのような考え方、姿勢についてご理解賜れば幸いです。

敬具